

広報

ひかりがわ



～山・川・海 思いやりの森造成運動～

『海をきれいにするためには、まず川をきれいに！川の水をきれいにするためには山に自然を！！』という発想から、海と川の漁業関係者が山に植樹をするという運動で、晴天に恵まれた10月20日、愛知・岐阜・三重の漁連関係者約300人が大漁旗とともに東白川村にやってきました。

この日参加した総勢400人は植樹で汗を流した後、キノコ飯で空腹を満たし、太鼓やフルートの演奏で落ち着いた気分…。地域を超え、世代を超えた交流に会場には笑みがあふれていました。（関連記事6ページに掲載）

11

No.

485

2001

バイオマス

エネルギー事情調査団訪問記

産業振興課農林係長 樋口章久

環境に優しく無駄のないエネルギー＝バイオマス。あまり耳にすることのない言葉ですが、今後注目される「新エネルギー」です。それらを有効利用している国、スウェーデン・デンマーク・ドイツの現状を視察研修のレポートとして皆さんにご紹介しましょう。

初めての海外への研修、しかも十一日間という長丁場です。期待と不安の入り混じる気持ちで迎えた九月五日、午前十時五分に名古屋空港を出発し、ルフトハンザドイツ航空で十二時間かけてフランクフルト空港へ。乗り継ぎを行い三時間程度の飛行を経て、第一の目的地スウェーデンストックホルム空港へ九月五日午後六時(時差は八時間程度)に到着。気候は晩秋から初冬という季節でした。今回の研修は岐阜県の主宰によるもので県議会議員、県職員、市町村職員、木材取引関係団体長ら十六名が参加しスウェーデン・デンマーク・ドイツを訪問しました。

研修目的は、より環境に優しい『新エネルギー』について調査すること。日本は、エネルギーのほとんどを化石燃料(石油、ガス等)としていたため、二酸化炭素ガスの放出による温室効果の増大、オゾン層破壊による気温の温暖化現象など地球環境に影響を及ぼしていると

いえます。そのことから、エネルギーを見直し『新エネルギー』の導入を積極的に進めている北欧・ドイツの取り組みを調査し県内への導入実用化の可能性について調査を行いました。

スウェーデンでは、木材資源を利用したバイオマスエネルギーを中心に研修を行いました。スウェーデンの人口は八百七十万、国土の約五十%が山林で木材資源が豊富。また、地形的にも日本とは違い、山林といながらもほとんど起伏のない森林地帯が続いています。スウェーデンのバイオマスエネルギーの利用は、薪を利用した暖房に始まり一九七〇年代当初に二十三%であったバイオ(バイオマス)エネルギーの利用率が、一九七二年と一九七八年の石油危機により暖房器具の開発、整備が進み五十%に向上。一九九七年の地球温暖化防止京都会議を受け入れ二酸化炭素税(空気を汚した者から税金を徴収する)の導入など政策



▶バイオマスの説明を受ける調査団

的動向も加わり二〇一〇年で二十
七%を目標としています。

バイオエネルギーの供給元であ
るソービ(株)を訪ねました。この会
社は百三十の製材所を持ち、森林
所有者から委託を受け伐採、搬出
加工を行っている。その間に排
出される枝やオガクズを利用し年
間十万吨のペレット(子指先大
のオガクズを固めた固体でストー
ブ燃料等に使用)やチップを製造
し販売しています。先ほども記し
たように地形的有利性から作業は
全て大型機械によるもので、一日
に約三百立方メートルの処理が可
能。森林で排出された枝等は、平
屋建ての屋根に届くほど高く積ま
れ、一年から一年半の期間、乾燥
のため山林で放置されます。乾燥



▶山林での大型機械によるチップ加工の様子

が確認された
後、その場で
チップ加工を
行い工場へと
運搬。この作業
も大型機械で
行われるので、
一日に四百立
方メートルの
処理が可能と
なります。そし
て、伐採が終
わった山林に
植林を行うこ
とにより、伐採
量と成長量の
均衡が保たれています。

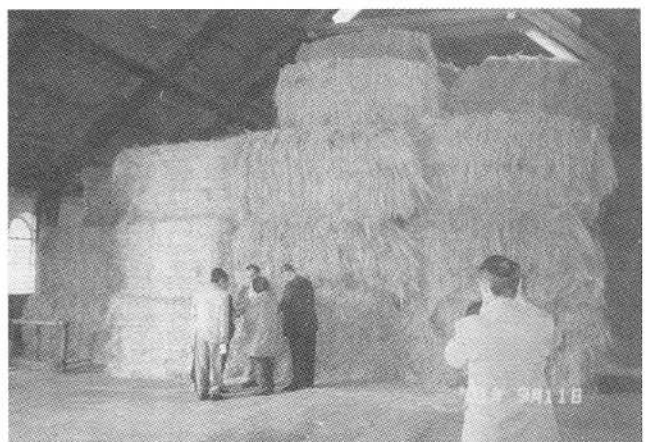
次に、先ほどのチップ材をエネ
ルギーとして利用しているVEA
B株を訪ねました。一八八七年
に創立、一九七〇年代に発電事
業に取り組み、その後、地域暖
房事業へと進展し一九八〇年
からバイオエネルギーに着手
している会社で、現在は高さ約
三十メートルの炉にチップ材
を投入して燃焼させ、そこから
発生する熱の蒸気で発電を行っ
ています。また、水蒸気を水へ
戻すための冷却時の熱を利用



▲VEAB社へ搬入されたチップ材

し、八十五度の湯を地中配管
を利用して三千戸の家庭へ
供給。石油燃料に変わる暖房
として使われています。こう
した取り組みが国、自治体、
企業の協力の基に行われて
おり、環境問題を正面から問
題視しているといえます。

デンマークでは、サムソ島
を訪ね、島の開発とエネル
ギー施策を同時に行ってい
る現場を視察しました。島の
人口は四千五百人で、一島で
市長一名、市議会議員十三名、
警察官一名の自治体を形成
しています。農業経営が主産業で
キュウリ、ジャガイモ、赤かぶ等
の栽培が行われています。また、
デンマーク人の憩いの場でもあり
夏の観光期間には四十万人の宿泊
客があります。以前は必要なエネ
ルギーの全てを島外から購入して
いましたが、一九九七年から自然
エネルギーの利用に取り組み、電
力については風力発電装置十一基
により百分の自給にたどり着いて
います。また、地域暖房について
も現在建設中の部分もありますが、
三十%をバイオエネルギーで対応
しています。六十%の集居地域と



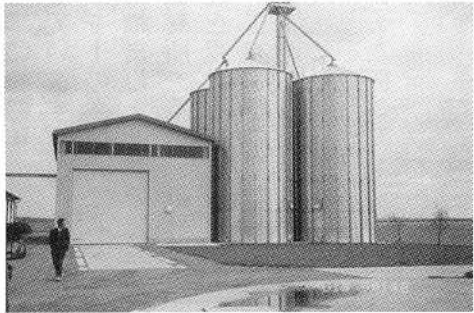
▲麦の収穫後、熱エネルギーとして使用される麦わら

四十%の散居地域に区分できるサ
ムソ島。島内には地域暖房で対応
できる地域とそれ以外の地域があ
り、対応地域への暖房は、麦わら
を使ったボイラーにより熱供給さ
れています。また、一農家がエネ
ルギー供給の拠点となり、穀物の
乾燥に使った余りの熱の利用で、
周囲一キロメートルの範囲に地域
暖房を供給していました。
以前は、本国より発展が遅く地味
な存在だった一つの島が「古い建
物の保護、犯罪発生率ゼロ」など
の状況から、『自然にやさしい島』
として今、国中の注目を浴びてい

ます。

ドイツでは、 ナタネ油を使ったバイオディーゼル燃料についての視察を行い、農家フォルスター氏宅を訪れました。この農家の経営農地百九十三ヘクタール（所有地八十八ヘクタール、借地百十三ヘクタール）には、てん菜三十八ヘクタール、小麦六十ヘクタール、大麦六十ヘクタール、ナタネ四十三ヘクタールが栽培され、千二百四十八頭の養豚も行われています。また、ナタネ栽培に必要な一ヘクタールあたりの経費は、千百十六マルク。苗代から肥料、薬剤などで五百四十マルク（二マルク約六十円）、機械経費五百七十六マルクがその内訳となります。

ナタネの販売は農家の集まりであるUNRという組織を通して加工業者と相対で行っており、昨年の販売価格は二千七百七十四マルクでした。したがって千五十



▶ 麦の加工施設及び貯蔵用サイロ

八マルクの利益があっても、借地料が千マルク必要なため借地での栽培となると、一ヘクタールあたり五十八マルクの利益しか残りません。それでもナタネが栽培されるには理由があります。ドイツにとってナタネの栽培は、輪作することにより土壌の改良が出来ること、ドイツでも日本と同じように農地の十%を転作する義務がありナタネが転作作物であること、国策であることなどがその理由。また、民間のナタネ油の加工工場は、施設整備に必要な事業費千八百万マルク（日本円で十億八千万円）のうち、国から六百万マルク（同三億六千万円）と全事業費の三十%が補助されています。油の精製には五段階の作業が必要であり二十四時間操業で三十万リットルのオイル加工がなされています。EU（ヨーロッパ共同体）では現在二%のバイオディーゼル燃料の使用量を、二〇一〇年には八%に達する目標としています。また、自動車製造会社でもバイオディーゼル燃料も使用できるエンジンの開発、製造を進めています。これらのことから国、自治体、企業が協力し合って環境問題に取り組んでいることが

わかります。



バイオディーゼルオイルの貯蔵タンク

この研修を受けている間に、二十年程前にドイツの留学生をホームステイで受け入れた方の話を思い出しました。その学生は、お菓子を食べた後、ビニール製の袋をどこへ捨てればいいのか家人に聞きました。家人は「このゴミ箱でいいですよ」と答えましたが学生は、紙とビニールを同じゴミ箱へ入れるのはおかしいと言いつつ納めしなかつたということ。その話を聞いた当時、私には理解できませんでした。今回の研修で分かったような気がします。一六〇〇年代に出来た町並みを

保存しようとするとき、使いにくい部分（施設）を直すのではなく自分を慣れさせるのです。石畳の道は歩みにくく車に乗っていても乗り心地のいいものではありません。しかし、この「物を大切にする気持ち」が自然を守り、地球環境を守っていくと言う意志に繋がっているとしました。バイオエネルギーの導入については、地球環境の悪化、温暖化現象などで新聞その他報道でも大きく取り上げられています。地球温暖化について言えば、二酸化炭素の排出量が現状維持できるとしても歯止めはかからないとも言われています。しかし、新エネルギーを取り入れることは必要で、燃料の供給、電気の売電契約、暖房供給の施設整備など大変難しい障害もあります。が、それでも今、取り組むべき事業と言えるのではないのでしょうか。最後になりましたが、この研修で得たものを今後に反映していくと共に、研修の機会を与えていただいた関係の皆様へ厚くお礼申し上げます。



意欲ある農業者を応援する

認定農業者制度



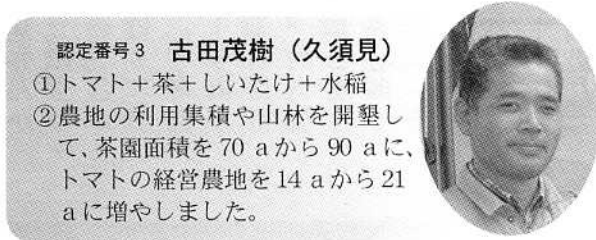
認定番号1 安江美好 (中谷)

- ① トマト+茶+水稲+緑茶販売
- ② トマトの経営面積を12 aから18 aに増やすことができました。平成13年から青色申告をします。



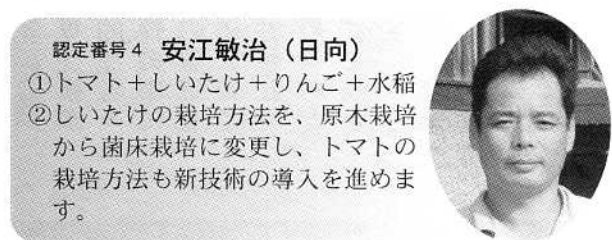
認定番号2 安江利英 (上親田)

- ① 茶+しいたけ
- ② 茶園の借入地を利用集積することで、経営面積を210 aから270 aまで増やすことができました。



認定番号3 古田茂樹 (久須見)

- ① トマト+茶+しいたけ+水稲
- ② 農地の利用集積や山林を開墾して、茶園面積を70 aから90 aに、トマトの経営農地を14 aから21 aに増やしました。



認定番号4 安江敏治 (日向)

- ① トマト+しいたけ+りんご+水稲
- ② しいたけの栽培方法を、原木栽培から菌床栽培に変更し、トマトの栽培方法も新技術の導入を進めます。



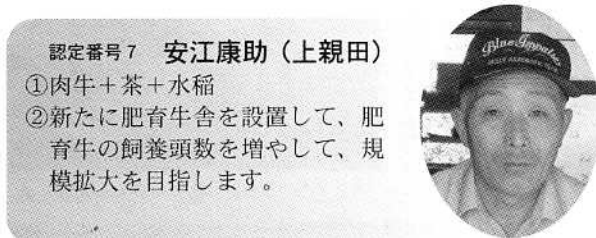
認定番号5 安江弘武 (柏本)

- ① 茶+カーネーション+緑茶加工販売
- ② 今後、茶の生葉加工機の更新やカーネーションのパイプハウスを新設して、所得増を目指します。



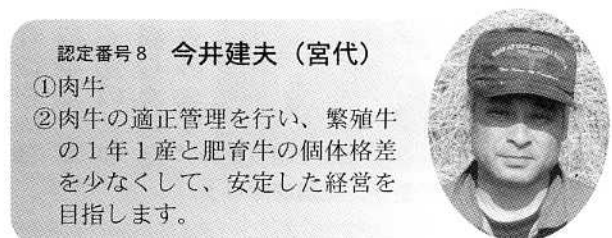
認定番号6 桂川公幸 (大明神)

- ① トマト
- ② トマトの経営面積を60 aから72 aへ増やすことができた。また、新しい栽培技術を取り入れます。



認定番号7 安江康助 (上親田)

- ① 肉牛+茶+水稲
- ② 新たに肥育牛舎を設置して、肥育牛の飼養頭数を増やして、規模拡大を目指します。



認定番号8 今井建夫 (宮代)

- ① 肉牛
- ② 肉牛の適正管理を行い、繁殖牛の1年1産と肥育牛の個体格差を少なくして、安定した経営を目指します。

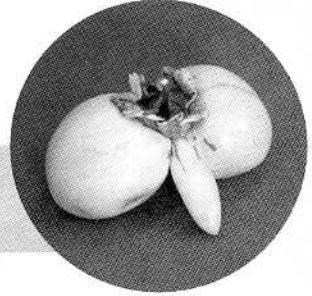
認定農業者とは・・・

- 農業で頑張っていく農家の方が、自分の夢を数字に表し、将来の農業経営の姿をはっきりと持ち、プロ意識の向上を目標とします。
- この目標を村が認定して、「農業経営のスペシャリスト」として県、村、農協などの関係団体による支援を行い、農業経営の発展を目指します。
- 現在、村には11名の認定農業者の皆さんが認定を受けて、活躍をされています。

- 認定農業者のメリット
- 低利資金の融資
- 税制の特例
- 機械・設備等の導入支援
- 農地の利用集積
- 新農業者年金の助成制度 (平成十四年)

認定農業者が再認定されました
 平成八年十月に誕生した認定農業者制度。五年後に目標を置き、各農家の規模拡大、生産方式・経営管理の合理化などを目指すというもので、九月中旬に村内の三会場認定農業者の制度説明会と個別相談会が実施されました。そして、前回認定を受けた八名の認定農業者の皆さんを対象に、農業経営の改善計画の分析を行い、更なる農業振興のために計画の見直しが行われ、再認定を受けました。

①…営農類型
 ②…この五年間での改善点、今後の目標



元気村の『出来事情報』

女性も男性も…

づくり”、“地域活動づくり”など、三つのテーマについて意見交換が行われました。「男尊女卑的な考え方は、男性だけでなく女性の中にも強く残っている：女性の意識改革も必要な時代なのでは？」「夫に『介護するために嫁に来てもらったワケじゃないのに…ありがたう』と言われたことをすごく嬉しく感じたことがあります。こういう気持ちがあると頑張れます」など多くの意見が出され、あらためて考える”女性”については有意義な時間となったのではないのでしょうか。



◀様々な意見の飛び交ったグループ討議

「旦那さんからの『頑張つて』の一言が嬉しい…」
第二回女性フォーラムが十月十日に行われ、村内各団体から女性の代表者四十七名が集まりました。会が始まると三つのグループに分かれ、男女ともに働く環境

「火の用心」幼年消防まつり

十月十六日、白川町と七宗町、東白川村の保育園児（年長）を対象に白川町で幼年消防まつりが行われ、約百二十人の園児が参加。各園による遊戯や寸劇の発表、消防職員の腹話術などを交え、幼年期から「火の用心」の意識を持つことを目的としている行事で、本村の二園は「つちのこくんの火の用心」という寸劇を披露しました。また、消防署の職員からの「マツチやライスターで遊ばないでくださいね」との問いかけに、園児たちは「はい」と元気に返事をしていました。



◀「こどものひあそびは、ぜったいにしない」と宣言



▲他園の発表（手遊び）に興味津々♪

漁師が山に!? 思いやりの森造成運動

十月二十日、久須見の村有林で『山・川・海思いやりの森造成運動』という植樹が行われ、地元林業関係者、愛知・岐阜・三重の漁連関係者など約四百人が参加しました。今回、植樹を行った千五百本の苗木は栗と桜の二種類で、植樹前には地肌が見えた会場も苗木を植えて目印の桃色のリボンを結びと…会場一帯に小さな花が咲いたように華やかな光景へと変わっていました。作業を終えた”海”からの参加者に感想を訪ねると「面白いね。でも仕事やったら大変やと思うわ」「初めての経験だけど、楽しかった」と、その表情は満足そう。雲ひとつない秋空のもと、爽やかな海と山との交流に会場には笑顔があふれていました。



◀苗木とクワを手に会場に分散する参加者たち

◀きんもくせい心地よい香りを提供し続けて40年。(藤井悟さん・大沢)

話題集まれ!

▶土のう壁作りに挑戦!



空中消火資器材の取扱訓練なども行いました。消防団や自主防災会の皆さんによるこうした日ごろからの備えが、東白川村に安らぎをあたえていくのではないのでしょうか。

震度7の直下型訓練地震発生!

「岐阜県 東部に震度七の直下型訓練地震発生!」
十月二十一日、総合グラウンド周辺で加茂郡消防連合演習が行われ、本村からは消防団や自主防災会、婦人防火クラブなどから約二百人が参加。郡内他町村からの消防団員も含め総勢四百八十人が参加する大規模な訓練となりました。
午前八時の携帯電話のメールによる召集に始まり、対策本部の設置、自主防災会長や婦人防火クラブ員による消火訓練、本村と他町村の協力による山林火災の消火訓練などを実施。更に、道路決壊に対する土のう講習会や自衛隊による空中消火資器材の取扱訓練なども行いました。消防団や自主防災会の皆さんによるこうした日ごろからの備えが、東白川村に安らぎをあたえていくのではないのでしょうか。



▲火点に向けて放水始め!

村の大掃除!? 商工会一日奉仕作業

から毎年続けられているもので、今回の作業には会員約百名が参加し、小中学校など公共施設と商工会館の営繕作業、主要道路端の草刈りや清掃作業、独居老人宅の営繕作業など多種多様な内容ながらも各部会ごとに分担し、作業が行われました。なかでも昨年から始められた独居老人宅の営繕作業の依頼件数は昨年の二倍の九件と好評で、「よう来てくれんさつた」と暖かく迎えるお年寄りの姿もみられました。また、商工会青年部による村内カーブミラーの清掃作業も実施され、今回参加した部員八名はペアを作り清掃用具を手に村内を駆け巡っていました。



十月二十八日、村内全域で平成十三年度東白川村商工会一日奉仕作業が行われました。これは、二十年ほど前

◀会員どうしの協力で庭木もキレイに



▲手際よくミラーを磨きます!

白川流域ますます団結! 尾城山サミット開催

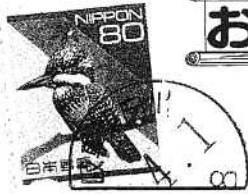
行われ、関係者約五十人が各町村から山頂に通じる登山道を利用して会場に集いました。今回開催された、このサミットは「山から流れてくる川の水。山の木々について考えてみては?木の話は木のあつ場所?」という発想の基、更なる白川流域三町村の絆を深めるためのもので、各首長からの提言やサミット宣言、白樺の苗木の記念植樹を実施。そして、第一回目を記念して三首長によって標柱が立てられました。また、各首長による提言の中で安江村長は、森林に関する補助事業や木材資源の有効活用について提言。村の産業、環境に対する熱い思いが秋色深まる会場にしみわたっているようでした。



十月三十日、加子母村・東白川村・白川町の町村界である尾城山山頂で、かしも・白川流域連合協議会による『尾城山サミット』が

◀記念の標柱を立てる三首長

なごやか村の『人情報』



お便り

今、私にできること

愛知県岩倉市 土岐 修

今回は、山の皆さん、海の皆さんの参加者が大多数であったと思います。山から海へ、途中の川の人も多く参加し、思いやりの森造成運動をさらに発展させていかなければなりませんと痛感しています。来年も参加します。山・森についてもっと勉強したいです。



都会に住む私にとって、山・森は、心の安らぎのところです。数年前から、森林ボランティアとして各地で参加していますが、東白川村内の国道二五六号、県道六二号線の利用は、通過経路にすぎませんでした。十月二十日、『山・川・海』思いやりの森造成運動に参加させていただきました。栗・桜の苗木を十六本植え、すがすがしく開放的な気分を味わい、村長さんを始め、主催者の話を聞き、今まで下流域の水を作る森を守り、育てていかなければと、植林、下草刈り、枝打ち、除伐作業等経験してきましたが、海にも、山が大切な役割をしていることを知り、山に対し、まだまだ勉強することが一杯ある事を知りました。

安江将利さん

(越原栃山・23歳)
株立保土木 勤務

さわやかさん



- 趣味は？
ドライブ、パソコン、スノーボード：過去にDJしてたこともあります。
- 趣味は？
ドライヴ、パソコン、スノーボード：過去にDJしてたこともあります。
- 今やりたいこと
仕事の、人間的に周りの人に認められるよう、自分自身もつと頑張りたい。
- 今、夢中なものは？
パソコン。進歩のスピードが早いし、奥が深くて飽きないところが面白い。
- 好きな異性のタイプは？
お互い刺激しあえるような気の強い子。
- 結婚について
三十歳くらいまでには：結婚できればの話(笑)



▲平成13年度東白川村菊花展

- 村長賞＝安江峰子(平)
- 議会議長賞＝早瀬千津(神付)
- 商工会長賞＝安江永子(西洞)
- 森林組合長賞＝今井克彦(神付)
- 農協東白川支店長賞＝安江重里(平)
- 観光協会長賞＝村雲美代子(陰地)
- 郵便局長賞＝村雲邦彦(平)
- 努力賞＝安江重治(平)・服田静子(平)

わが家のスター



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が……



ゆま
安江幸真ちゃん
(八城さん・綾花さん＝栃山)

●誕生おめでとうございます

安江 亜優 { 昌博 (曲 坂)
昌子
土井 唯斗 { 宏治 (柏 本)
佐知子
古田 楓 { 康二 (平)
奈美
大坪 宏至 { 行洋 (平)
伸江
今井 敢太 { 嘉徳 (平)
いずみ

●いつまでもお幸せに

{ 神戸正紀 (平)
安江美幸 (陰地)
桂川英記 (日向)
川田優佳 (岐阜市)
安江 規 (大明神)
國枝真美 (岐阜市)

●おくやみ申し上げます

安江 勇造 68歳 (下親田)
安江 通 83歳 (日 向)

みんな仲間だ!

神戸正紀さん・美幸さん夫婦 (平)



新婚さん



▲行きつけの居酒屋でのツーショット

今月は、先月八日に式を挙げられた平の神戸正紀さん・美幸さん夫婦を訪ねました。「お互い嘯み合っていないようで、うまく嘯み合っている」と話されるお二人が知り合ったのは村内の居酒屋での偶然的な出会いだったとか。その時、ご主人に教えられた携

帯電話の番号に、後日、奥さんが電話をかけ直したのをキッカケに二人の友達関係がスタートし、数カ月後には恋人同士に。その後、約二年の交際を経て「俺に黙って付いて来い」というプロポーズの言葉に奥さんは「黙っては付いてかんよ(笑)」と返事をしたとか。そんな愉快なお二人に新婚生活について訪ねると「料理が上手いし、家事をうまくこなしてくれる」とご主人が話せば「食事の片付けは、たまに手伝ってくれるよね」と奥さん。新婚一ヶ月なだけに、まだまだ熱いお二人でした。

職場から

カーネーション生産農家

平成9年度に認定農業者として認定され、来年で5年の区切りを迎える田口昌克さんを紹介し

ます。「カーネーションの栽培は、毎年1年生やね」と話される田口さん。ハウス栽培により1年を通して出荷できるというものの時期や気候などの条件によって花の出来は様々で、前年と同じ手法を用いても…環境的条件の違いにより二度同じ花は咲かないとか。そんな気まぐれで素直な花の栽培について田口さんは「まだまだ、納得できる花づくりができていない。もっともっと向上しなければ…」と。

村の農業振興にも直結するカーネーション栽培に注目が集まります。

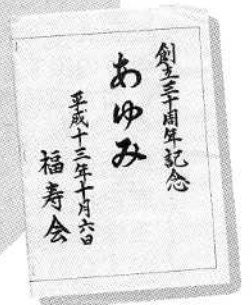


ホットアンゲル



昭和四十六年に、親田上下地区と中地区の六十歳以上の方々の賛同を得て発足した老人クラブ「福寿会」が今年で三十年を迎えました。

それを記念し、十月六日「福寿会三十周年記念大会」が伝承の広場で行われ、関係者六十人が会場に集いました。大会の中で「創立以来七名の会長によって三十年の歴史が出来ました。先輩諸氏に改めて感謝申し上げます私たちが福寿会を守り、次の世代へ申し送る責任を痛感するものであります」と力強く話される安江文吾会長。今後も会員の方々の協力と努力により、更なる成長が期待されます。



▲今回、会員に配られた記念冊子「あゆみ」



職場でのトラブルで困りの方へ『個別労働関係紛争解決制度』スタート

▼岐阜県労働局及び県内五つの労働基準監督署に「総合労働相談コーナー」を設置し、無料で職場における労働条件その他労働関係に関する事項についての紛争を、迅速かつ適正に解決するための援助サービスを実施することとなりました。

具体的には、「総合労働相談コーナー」におけるトラブル解決のための各種情報提供、労働局長による助言・指導、紛争調整委員会による「あっせん」を行います。

▼問合先／岐阜労働局総務部企画室 TEL 058(245)8124

秋の清流マス釣り大会結果

【一般の部】優勝／51cm＝高橋吉郎（豊橋市）二位／46.5cm＝村雲文明（岐南町）三位／45cm＝森武（名古屋市）四位／43cm＝土本五八（一宮市）／萩原精治（飯田市）／石黒満博（恵那市）

【ジュニアの部】優勝／44cm＝田口泰生（平）二位／35.5cm＝川合直子（可児市）三位／32cm＝大坪隆吾（平）

【レディース】優勝／41.5cm＝朝比奈富子（七宗町）二位／40.5cm＝平田香千代（名古屋市）三位／38cm＝川合美幸（可児市）



◆平成十三年度人権週間◆
十二月十日は『人権デー』。毎年十二月四日からの一週間を人権週間と定め、本村では左記のとおり『くらしの相談所』を開設します。相談は無料で秘密は固く守られますので、気軽にお出かけください。

▼日時／十二月四日（火）午後一時～四時

▼場所／役場別館

▼相談員／法務局職員

▼人権擁護委員／中島癸一氏、安江登美子氏

保健婦だより

高齢者の食生活

- 一食一食を楽しみながらしっかりとろう！
- 「高齢者のための食生活指針」
- ①低栄養に気を付けよう
 - ②調理の工夫で多様な食生活を
 - ③副食から食べよう
 - ④食生活をリズムにのせよう
 - ⑤よく体を動かそう
 - ⑥食生活の知恵を身に付けよう
 - ⑦おいしく楽しく食事をとろう

中年世代の場合と違って、高齢者の場合、食べる量が減ることが多いため、栄養のバランスを考えながら、しっかりと食べることが重要です。

70歳を超えれば、お医者さんから止められない限り、自分の好きな物を中心に色々な食材を取り合わせ、ご飯とそれに合うおかずという、日本型の食事を中心に、野菜、乳製品、肉類をあまり偏らないよう食べることが大切です。



米国同時多発テロ救援金のお礼～日本赤十字社東白川分区～

9月11日に発生した米国同時多発テロに対して、日本赤十字社と日本放送協会では救援金を募集しましたところ、村内の皆様から25,505円の救援金をいただきました。ありがとうございました。

お寄せいただきました救援金は、10月16日に日赤岐阜支部へ送金を完了しましたので、ご報告いたします。

社会教育あれこれ

▼先日、ある会議で「昔は、秋から冬にかけて柿や栗やミカンなんかを喜んで食べたものだが、今の子どもたちはどうかな？」という意見を言われた方がみえました。出席したみなさんの意見を聞くと、どうやら、柿や栗やミカンという季節の味覚を楽しむ子どもが少なくなってきたようです▼今から30年くらい前は確かに「この季節はこの食べ物」という感覚が多く日本人にあったと思うのですが、現代の子どもたちには、こうした季節の味に対する感覚が乏しくなってきたのかもしれませんが▼私たちが子どもたちに伝えていかなければならないものは数多くあると思うのですが、その中には、こうした味覚・食育（食に関する教育）といったものも含まれるのではないのでしょうか。そして、食に限ったことだけではなく、地域全体で子どもたちの成長を応援していくような体制を作っていく必要があると思います▼秋の味覚の王様である『松茸』を見て「くさーい！！変なおいがするから大嫌い！！」なんて言いだす子どもたちで世の中がいっぱいになったら……。どうですか？想像できますか？

（教育委員会）

◀鮮やかな赤い実をつけたミョウガ。
カラーでお見せできないのが残念…
(高井良子さん・中通)

ありがとうございました

御寄付 (10/31 現在) (敬称略)

【社会福祉協議会】

清拭用布=今井さくゑ (宮代)
古切手=樋口美佐枝 (西洞)
古切手=山田土建株
くず小豆・びしゃの実=田口恵津 (平)
くず小豆・石鹸=安江智春 (栃山)
くず小豆=高井豊 (黒淵)
くず小豆=村雲孝平 (日向)
くず小豆=熊沢たみへ (大明神)
くず小豆=安江正介 (黒淵)
くず小豆=田口みち子 (中谷)
金 10 万円=安江茂・安江潔 (日向)
金 9 万 3 千 9 百円=
山田土建株従業員一同
金 5 万円=今井好美 (西洞)
金 5 万円=安江富貴子 (白川町)
金 5 千円=安江みつ子 (上親田)
金 2 千円=伊藤クニ (柏本)

【みつば保育園】

卵 300 個=今井悟史 (神付)
折り紙・風船=JAみのかも
竹細工…かご2個=村雲規造 (上親田)
さつまいも 50kg = 田口貞造 (中通)

【東白川小学校】

竹ぼうき 58 本・雑巾 118 枚=
老人クラブ高砂会

【越原保育園】

栗=安江健 (日向)
折り紙・風船=JAみのかも
コーヒー・紅茶=安江広和 (日向)

【東白川病院指定】

金 20 万円=安江きり (上親田)

【東白川村役場】

掛け時計=榎間一吉 (平)

【社会福祉事業指定】

金 1 万円=早瀬 寛 (神付)
金 1 万円=島倉芳馬 (上親田)

【越原運動場照明整備指定】

金 40 万円=越原壮年ソフト運営委員会

【その他一般】

金 5 万円=澤木岸乃 (平)
金 3 万円=藤井辰司 (平)
金 3 万円=安江 操 (日向)

社協から

地域で支え合う

温かいお正月

今年も残すところ一ヶ月余りとなり、「歳末たすけあい募金運動」の時期が近づいてきました。

十二月一日〜三十一日までの一ヶ月間、例年どおり事務嘱託員さん・班長さんを通じ、皆様に募金のご協力をお願いいたします。

お寄せいただきました温かい善意は、地域の福祉のために有効に活用されます。

飛騨美濃体験博 21「区域間交流バス」参加者募集

行き先/根尾村、谷汲村

期日/平成 13 年 12 月 8 日 (土) 7:45 集合、17:00 解散

集合場所/可茂総合庁舎 (美濃加茂市)

定員/40 名

参加料/3,010 円 (昼食代、体験料など)

申込・問合先/中濃地域農林商工事務所

産業労働課 TEL 0574-25-3111(283)



出産費貸付制度のご案内

本制度は、出産育児一時金が支給されるまでの間、出産に要する費用の支払いにあてる資金を無利子で貸付けするものです。

▼対象/妊娠四ヶ月以上で医療機関へ一時的な支払いが必要となった方。

▼限度額/二十四万円以内

▼返済方法/出産後申請により支給される出産育児一時金が貸付金の返済に充当され、差額は本人が指定した口座に振込みとなります。

▼申込・問合先/役場住民課 (有 2162)

本



『風の子レラ』

AKIRA 著

地球は人間だけのものではない。アイヌは何年もの間、自然と仲良くやってきました。動物や虫や太陽や風、山、川…、等しく大切な神として助け合ってきたのです。アイヌ学校での教えは、僕たちが本来持っていた自然への感謝や命の大切さといった至極単純で最も大切な世界観。心温まる笑いや涙をとおして現代に生きるアイヌの姿を生き生きと伝えます。

私の作品

東白川小学校 1年生
「先生の顔」



「ハンディラック」
村雲絵理加さん
(神付)

伊藤大輔くん
(日向)

越原保育園

「えんそく」
桂川みなみさん
(大明神)

東白川中学校 1年生

「ティッシュボックス」
安江 礼さん (神付)



「いもほり」
安江賢人くん
(陰地)



安江 梓さん (黒淵)



←絵手紙教室
生徒作品

短歌

かなかなに俄かに逝きし女のこと尋ねてみたき夏の夕ぐれ
三戸きり
台風の害なく稔った稲穂ゆれのどけき野辺に赤とんぼ飛ぶ
刈田良香
老いもよしゲートボールに魅せられて揃ひのウエア派手目を選ぶ
安江嘉子
足癒えて老人まつりに一とおどり踊らんと待つ心いさみて
山口かずみ
音たてて降る雨音を聞きながら芽生えし無を案じて眠る
刈田清美
進路きまらず気になりし台風何事もなく過ぎて野に稲穂がゆるる
安江節子・平
虫の声窓辺に聞きて寝がへりをうちつつ夜具の端を引きよす
安江とくよ
夜半過ぎて午前となりても寝つかぬままに思うは悪しきことのみ
今井米子
近々とわが掌に触れて白雲のこころは海拔二、七〇〇
小林道子
叢に一輪咲ける野の花とまた廻り来し秋を懐ちぬ
安江守平
萩垂るる墓参の細道抜け出れば眞青な空大きく息す
古田 緑
外国に起りしテロは忽まちに緊張走らす国の内外
安江嘉久一
人間はかくも愚かな生きものかテロの映像見つしし想う
今井光彦
秋晴れの空にむかえばありがたし実りの五穀深みゆく日日
安江龍玉
大空に動くことなき縋雲そよそよと秋は眞近に
樋口敬一郎
トタン壁さびびて小さき穴のあき中に小鳥のヒワの鳴き声
早瀬久子
仕事着の緋のモンペたたみつつまた来る春に夢をあざむく
安江節子・親田
開け放つ窓より入りくる糸とんぼあわれあわれ吾に似て細く
今井かな
稲刈りを済ませし夜半の雨音に心安けく眠らむとせり
安江 澄
生前に喜びくれし「わらび餅」造りて供う今日は命日
伊藤美枝

※皆様の作品をお寄せ下さい。ご投稿は毎月二十日までに
越原 安江嘉久一宛にお出しく下さい。



人口の動き

— 10月月末住民登録人口から —

世帯数	901	世帯
人口	3,127	人
転入	8	人
転出	4	人
出生	5	人
死亡	2	人

先月と比較して 7人増
昨年と比較して 6人増

▼青春という言葉、あなたはどう感じるか？▼ある西洋の詩人は、青春とは人生のある期間ではなく心のもち方を言い、それは、たくましい意志、ゆたかな想像力、炎える情熱を持ち続けることで、ときには二十歳の青年より六十歳の人に青春があると書いています▼年を重ねただけでは人は老いない、理想を失うとき初めて老いる▼六十歳であろうと十六歳であろうと人の胸には、常に新しい事の発見や未知への探究心があったり、人生への興味の欲びがあります▼あなたは今、自分が情熱をもって取り組んでいることがありますか？それが音楽でもスポーツでも、趣味の活動でもいいんです▼みなさん生涯青春しましょう (Y)

